

- ・日時：平成30年3月28日（水） 12:10～12:40
- ・場所：大阪大学吹田キャンパス
- ・出席：25名

会議冒頭、寺井部会長からの開会挨拶があった。次に、配布資料を用いて庶務幹事から次の報告、説明がなされるとともに、副部会長の選任等について審議が行われた。また、部会賞講演賞について表彰式を執り行った。

1. 活動報告（報告）

次の通り報告され、特に質問や意見はなかった。

(1) 全体会議

- ・平成30年3月28日（水）大阪大学

(2) 運営小委員会

- ・平成29年度 第1回 平成29年5月26日（金） 日本原子力学会 事務局 会議室
- ・平成29年度 第2回 平成29年7月6日（木） 夏期セミナー会場（青森県浅虫）
- ・平成29年度 第3回 平成29年10月31日（火） 日本原子力学会 事務局 会議室
- ・平成29年度 第4回 平成30年2月26日（月） 日本原子力学会 事務局 会議室

(3) 企画小委員会

- ・平成29年度 第1回 平成29年4月18日（火） 日本原子力学会 事務局 会議室
- ・平成29年度 第2回 平成29年8月24日（木） 日本原子力学会 事務局 会議室
- ・平成29年度 第3回 平成29年10月20日（金） 日本原子力学会 事務局 会議室
- ・平成29年度 第4回 平成30年1月17日（水） 日本原子力学会 事務局 会議室

(4) 夏期セミナー

a. 第29回 核燃料・夏期セミナー

- ・日時：平成29年7月5日（水）～7日（金）
- ・場所：浅虫温泉「海扇閣」（青森県青森市）

(5) 原子力学会 年会・大会企画セッション

a. 2017年秋の大会企画セッション「軽水炉・高速炉におけるトリウム燃料の利用(その3)」

- ① トリウム燃料利用の炉心特性 海外レポート等レビューと評価
- ② トリウム燃料の照射挙動, リサイクル 海外レポート等レビューと評価
- ③ エネルギー情勢と原子力

b. 2018年春の年会企画セッション「シビアアクシデント時の核分裂生成物挙動」

- ① 専門委員会設立趣旨と本企画セッションの狙い
- ② Phebus-FP 実験から得られた知見と廃炉計画への反映

- ③ Phebus 実験に基づくベンチマークで得られた知見と SA 解析コードへの反映
- ④ 実機と Phebus 実験入手情報とのギャップ
- ⑤ FP 挙動の統合的な評価技術基盤構築に必要な実験の検討
- ⑥ 総合討論と総括

(6) ワーキンググループ (WG)、委員会

a. 軽水炉燃料等の安全性高度化ロードマップ検討 WG

2 回の全体会合を開催。主査は東京大学の阿部先生。活動期間は平成 30 年 3 月まで。活動期間延長を検討中。

b. 燃料デブリ研究専門委員会

平成 28 年度中に実施した全体会合の結論とその後の各グループ会合、メール審議を踏まえて、現在報告書を作成中。主査は東京大学の阿部先生。活動期間は平成 30 年 3 月まで。

(7) 国際会議・セミナー

a. WRFPM2017

平成 29 年 9 月 10 日(日)から 14 日(木)まで韓国・済州島で「WRFPM2017」が開催。

b. HOTLAB2017

平成 29 年 9 月 17 日(日)から 22 日(金)まで、茨城県水戸市で「HOTLAB2017」が開催。

c. ANFC2017

平成 29 年 9 月 8 日(金)から 9 日(土)まで韓国済州島で「ANFC2017」が開催。

(8) 平成 29 年度核燃料部会部会賞の選考

奨励賞は応募がなく、該当なし。学会講演賞は、選考結果の報告と授賞式が行われた。

- 1) 成川 隆文 氏 (東京大学、原子力機構) 「非照射ジルカロイ-4 被覆管の LOCA 時破断限界の不確かさ評価」
- 2) Afiqa Mohamad 氏 (大阪大学) 「 U_3Si_2 の熱的及び機械的性質」
- 3) 中山 恭輔 氏 (大阪大学) 「早期実用化を目指した MA-Zr 水素化物を用いた核変換処理に関する研究開発 (3)Nd-Zr 水素化物の物性評価」
- 4) 山口 壮一郎 氏 (福井大学附属国際原子力工学研究所) 「様々な酸素分圧下での先進燃料被覆材 SiC の高温酸化挙動」

2. 平成 29 年度収支見通しおよび平成 30 年度予算 (報告)

平成 29 年度は、HOTLAB2017 の余剰金、夏期セミナーの余剰金の収入があり、総収入が総支出を上回る見通しであること、並びに、平成 29 年度末の時点で繰越金は 4,920,436 円の見通しであり、このうち 1,367,517 円は WRFPM、700,000 円は ANFC の次回国内開催に向けて確保されていること等が報告された。

3. 部会長等の選任 (審議)

副部会長の選任等について、次の通り承認された。草ヶ谷新副部会長より、しっかり対応していきたいとの挨拶があった。

(1) 副部会長の選任

伊藤 邦博 (ニュークリア・デベロップメント) 【退任】 ⇒ 草ヶ谷 和幸(GNF-J) 【新任】

(2) 運営小委員の選任・退任

逢坂 正彦 (日本原子力研究開発機構) 【退任】 ⇒ 川西 智弘 (日本原子力研究開発機構) 【新任】

池田 一生 (ニュークリア・デベロップメント) 【退任】 ⇒ 篠原 靖周 (ニュークリア・デベロップメント) 【新任】

伊藤 邦博 (ニュークリア・デベロップメント) 【退任】

4. 平成30年度業務担当 (報告)

次の通り報告され、特に質問や意見はなかった。

担当		H30 年度担当者
広報 部会報		[大阪大学] 黒崎委員 [東京電力HD] 山内委員
国際活動		[福井大学] 宇埜副部長
国内企画(横断活動、年会時企画)		[京都大学] 高木委員、[日本原子力研究開発機構] 川西委員
庶務幹事 (財務含む)		[日本原電] 島田委員、 [中部電力] 原田委員 (10月交代)
夏期セミナー幹事		[東京大学] 寺井部長、[原子燃料工業] 谷口委員
部会代表	部会等運営委員	[GNF-J] 草ヶ谷副部長候補
	評議員	[福井大学] 宇埜副部長

5. 今後の活動予定 (報告)

(1) 部会報 : 第53-1号 (平成30年5~6月頃発行予定)

(2) 夏期セミナー : 第31回 核燃料・夏期セミナー

・日時:平成30年8月6日(月)~8日(水) ・場所: 掛川グランドホテル

(3) 講演会 : (未定)

(4) 国際会議・セミナー : 国際会議HOTLAB2018 (平成30年9月16日~20日、ヘルシンキ市(フィンランド))
国際会議TOPFUEL2018 (平成30年9月30日~10月4日、プラハ市(チェコ))

(5) 運営小委員会 : 平成30年度第一回運営小委員会 (平成30年5月28日)

(6) 全体会議 : 平成31年春の年会時 (平成31年3月20~22日予定、於; 茨城大学)

6. 意見交換

核燃料部会の運営等について意見交換を行った。寺井部長から、他の部会に比べて学生会員が少ないことが課題として挙げられた。各委員からは、学会講演賞について、講演から選考結果までの期間短縮や奨励賞の応募促進、また、核燃料分野以外(例; 医学、放射線物理)への分野拡大、核燃料の周辺技術、燃料のふるまいと影響ファクタまで広げて積極的に取り込むこと等の意見があった。

7. 副部長からの挨拶

宇埜副部長から、特に若い人、部会に入っていない人に興味を持ってもらえるよう、各位にて勧めしてほしい、そういったイベントも考えていくとの挨拶があった。

以上